

オープンSDV

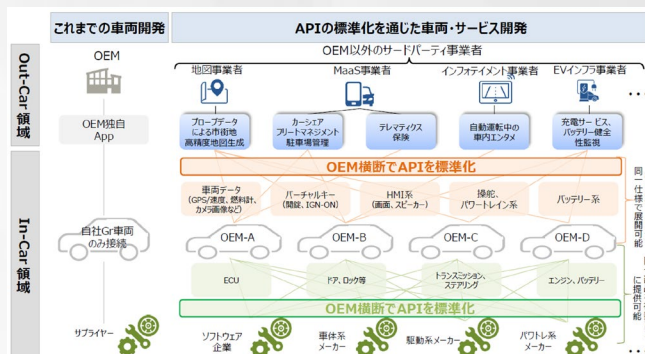
名古屋大学 情報学研究科NCES 高田 広章
同 クレスコSDV研究室 橋本 佳幸

▶オープンSDV（造語）とは？

サードパーティが開発したソフトウェア(アプリ)をインストールすることで、機能を拡張/変更することができる自動車。

▶オープンSDVによるモビリティイノベーションの加速

- 自動車はサードパーティのサービスを載せる基盤（プラットフォーム）となる。スマホのように。
 - APIを標準化することで、特定の車種や自動車OEMを限定することなくサービスを提供できる。
- ⇒ 自動車OEMのみならず、様々なサービスプロバイダが新しい価値を生み出せる可能性



モビリティDX戦略（経済産業省）

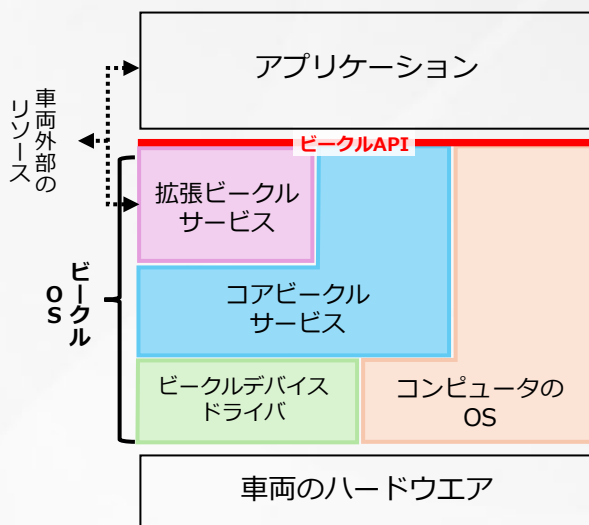
ビークルAPIとビークルサービス

▶ビークルAPI

- シグナルベースAPI**（COVESA / JASPAR）
 - 「車両データ」を読み書きする API
 - データモデルをOEM間で共通化しやすい
- サービスベースAPI**（Open SDV API Initiative）
 - 「車両の機能・能力」を呼び出す API
 - アプリ開発者にわかりやすい

▶ビークルサービス

- 調停**
複数のアプリケーションが同一の対象に制御を要求した場合の調停機能。
✓優先度情報（API）による調停とロック/アンロック機構
- リスク制御**
リスクがあるアプリにAPIの使用を許可/禁止する機能。
✓リスク対応情報（API）によるAPI使用の許可/禁止
✓審査機関による認定（アクセス制御）とペア。



ソフトウェアレイヤ構成

Open SDV Initiativeの活動

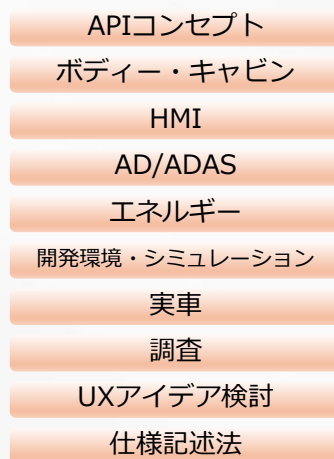
- 名古屋大学が産業界に呼びかけて開始した。
Open SDV APIを策定する活動。60社が参加。

<活動の方針・計画>

- 自動車業界外のアプリ開発者(=サービス提供者)の意見とアイデアを結集。
- AD/ADASを含むあらゆるドメインのAPI策定に取り組む。
- 実車やシミュレータによるPoCにより有効性を評価。
- SDV人材の育成にも取り組む。

<これまでの状況と今後の目標>

- 2026年9月：ビークルAPI仕様の第4版を公開。
- 標準化団体(JASPAR, COVESA等)への提案。



WGの構成

